

全長 80km のトレッキングコースが 9月13日にオープン! 信越トレイル 全・線・開・通

信越トレイル全線開通記念シンポジウム

9月13日(土) 午後1時30分～4時45分
斑尾高原スキー場 レストラン「ハイジ」

国内でも珍しい本格的ロングトレイルの誕生を記念し、3人の講師をお招きしてシンポジウムを開催します。参加は無料です。(交流会は参加費が必要です)

- 基調講演** (午後1時45分～2時45分)
「地域づくりの視点から見た信越トレイルについて」
講師：白石真澄 氏 (関西大学政策創造学部教授)
- 記念講演** (午後3時～4時)
「限りなき挑戦 ～4000山踏破を目指して～」
講師：重廣恒夫 氏 (登山家)
- 発表** (午後4時～4時45分)
「信越トレイル全線開通までの道のりと
今後の展望について」

講師：加藤則芳 氏
(バックパッカー、信越トレイルクラブ理事)

- 交流会** (午後5時～6時30分)
※参加費 3000 円

長野と新潟の県境にある関田山脈に整備された本格的なトレッキングコース「信越トレイル」。平成 17 年にはその一部 50km が運用開始となりました。そして9月13日、斑尾山から天水山までの全 80km のコースがいよいよ全線開通します。全線開通を記念し、下記のとおりイベントが行われます。ぜひご参加ください。

信越トレイル全線開通記念トレッキング

9月14日(日)・15日(祝)

両日も午前9時～午後4時

今回新たに開通した区間をバックパッカーの加藤則芳氏と一緒にトレッキングを楽しみます。日本海の眺めや菱ヶ岳、美しいブナ林、湖沼や湿原など見どころが多い2日間です。

- トレッキング行程**
・14日(日) 集合・解散場所…森の家
牧峠～宇津ノ俣峠～伏野峠～須川峠～菱ヶ岳
- ・15日(月・祝) 集合・解散場所…キューピットバ
レイスキー場センターハウス
菱ヶ岳～須川峠～野々海峠～深坂峠～天水山
- 参加費** 3000 円 (1日につき)

お申し込み・お問い合わせ

各イベントに参加希望の方は事前に下記までお申し込みください。

NPO 法人 信越トレイルクラブ (森の家 内)
☎ 69 - 2888 URL <http://www.s-trail.net/>



辰巳芳子先生
プロフィール

料理研究家・エッセイスト。料理研究家の草分けだった母・浜子さんのもとで家庭料理を学ぶ一方、西洋料理の研鑽も重ねる。父親の介護の経験から「いのちを支えるスープ」を研究する。また、安全で良質な食材を次の世代に用意せねばとの思いから、「良い食材を伝える会」「大豆 100 粒運動を支える会」等を設立し活動している。
【写真提供 文化出版局「ミセス」 撮影・藤本毅 (本誌)】

- テーマ** 「これからの食の行方」地域食材の活用」
- 日時・内容**
①9月27日(土) 午前10時～午後2時30分
講演会と昼食会
- ②9月28日(日) 午前10時～正午
辰巳先生を交えての茶話会 (記念写真撮影付)
- 会場** 文化北竜館
- 参加費** 7000 円 (2日連続)
1日目のみ: 5500 円
2日目のみ: 1500 円 (別途写真代 1000 円)
- 申込締切日** 9月16日 (ただし、定員 150 名になり次第締め切らせていただきます。)
- お問い合わせ**
市役所観光課観光係 (飯山市雇用創造促進協議会)
☎ ② 3111 内線 233

「食」についてもう一度考えてみませんか
辰巳芳子 講演会
食と命のつながりを追求し、次の世代の子供たちに「よい食材を伝えていこう」と活動されている辰巳先生にお話しいただきます。

9月27日(土)・28日(日)
文化北竜館

飯山市第3次行財政改革② 経費削減の成果と今後の取り組み

国の三位一体改革や交付税改革等による厳しい財政状況が続く中、平成 15 年度から 19 年度まで 5 年間にわたり取り組んだ飯山市第 3 次行財政改革。健全な財政運営を目指し、人員削減や経費節減のほか、市民との協働や市民満足度の向上のため、行政評価を取り入れるなどして改革を実施してきました。

先月号の市報では、借金・貯金残高における削減の成果と、削減のために実行した具体的な取り組み内容をお知らせしました。今月は、5 年間の各年度の削減累計額と、自立計画に基づく今後の取り組みについてお知らせします。

経費削減等の内容

■人件費の削減

職員数は平成 15 年 4 月の 310 人から 20 年 4 月で 255 人(広域への派遣除く)まで減員、議員定数を 22 人から 17 人に減員したほか、理事者給料、議員報酬も削減しました。

■公共工事施行方法の変更等

市民と市が協働し市道・農業用施設整備を行う「協働のみちづくり・むらづくり」を実施。「請負」から「協働」に公共工事施行方法を変更することにより、14 年度と比べ事業費は 4 分の 1 (19 年度決算額)に縮小しました。

また保育園の統合、公衆トイレの一元管理も行いました。

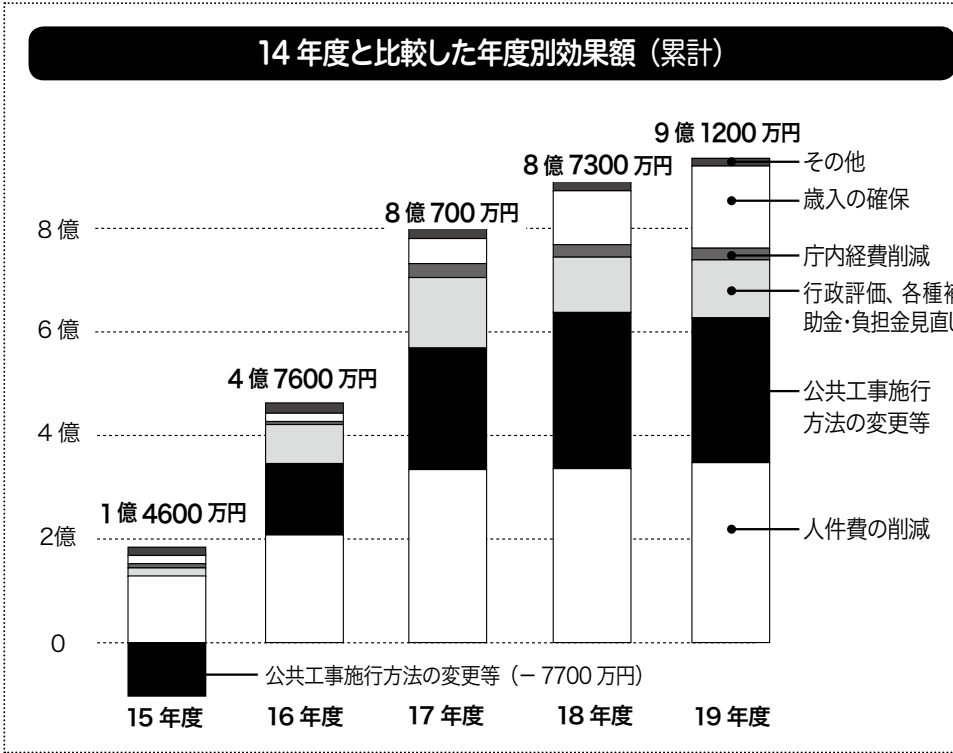
■行政評価による事業見直し、各種補助金・負担金の見直し

15 年度から「事務事業評価」を本格実施。62 事業を廃止、221 事業について縮小・統合・終期の設定を行い、重点化を図りました。

また 15 年度で各補助金・負担金を一律 5 % 削減、16、19 年度には一件ごとの見直しを行い、19 年度からは「補助金等の交付基準」に基づき交付をしています。

■庁内経費の削減

旅費・施設維持管理費・事務経費を削減。また公用車



分、下水道料金の改定を実施しました。

今後の取り組み

行財政改革により蓄えを確保
市の将来のために活用します
市では、行財政改革実施

期間中も新クリーンセンターの建設着工(H19)、新幹線駅周辺区画整理事業の着工(H19)など、必要な事業は実施してきました。今回の行財政改革により蓄えたお金は、新幹線整備や中学校の統合など、次の世代に悠久のふるさと飯山をつなぐために活用させていただきます。



△新幹線飯山駅周辺では区画整理事業も本格的に始まっています。